

福井県長期ビジョンの実現に向けたアンケート調査結果

- ・調査期間 令和2年10月22日～11月5日
- ・調査対象 県内に居住する満18歳以上の3,000人(住民基本台帳から年代別に無作為抽出)
- ・回答者数 1,625人(回収率 54.17%)

○居住地

	送付数	回答数	回収率	割合
福井市	1,010	556	55.0%	34.2%
あわら市	112	61	54.5%	3.8%
坂井市	346	176	50.9%	10.8%
永平寺町	77	51	66.2%	3.1%
大野市	125	66	52.8%	4.1%
勝山市	92	54	58.7%	3.3%
鯖江市	265	129	48.7%	7.9%
越前市	314	161	51.3%	9.9%
越前町	79	37	46.8%	2.3%
池田町	10	7	70.0%	0.4%
南越前町	39	23	59.0%	1.4%
敦賀市	251	115	45.8%	7.1%
小浜市	112	74	66.1%	4.6%
美浜町	38	20	52.6%	1.2%
高浜町	42	20	47.6%	1.2%
おおい町	32	19	59.4%	1.2%
若狭町	56	36	64.3%	2.2%
未記入・無効等	-	20	-	1.2%
計	3,000	1,625	54.17%	100.0%

○年齢

	送付数	回答数	回収率	割合
10代	75	28	37.3%	1.7%
20代	308	111	36.0%	6.8%
30代	367	172	46.9%	10.6%
40代	484	230	47.5%	14.2%
50代	449	271	60.4%	16.7%
60代	489	326	66.7%	20.1%
70代～	828	468	56.5%	28.8%
未記入・無効等	-	19	-	1.2%
計	3,000	1,625	54.17%	100.0%

○性別

	回答数	割合
男	701	43.1%
女	896	55.1%
自由記述	2	0.1%
未記入・無効等	26	1.6%
計	1,625	100.0%

○職業

	回答数	割合
自営業	149	9.2%
家族従事者	41	2.5%
会社役員・団体役員	67	4.1%
会社員・公務員	551	33.9%
パート・アルバイト	263	16.2%
学生	36	2.2%
専業主夫・主婦	186	11.4%
無職	268	16.5%
その他	43	2.6%
未記入・無効等	21	1.3%
計	1,625	100.0%

○世帯構成

	回答数	割合
ひとり暮らし(単身赴任を含む)	48	3.0%
夫婦のみ	209	12.9%
2世代同居世帯(本人(夫婦を含む)と子ども)	576	35.4%
2世代同居世帯(本人(夫婦を含む)と親など)	193	11.9%
3世代同居世帯(本人と子どもと孫)	192	11.8%
3世代同居世帯(親と本人と子ども)	186	11.4%
3世代同居世帯(本人と親と祖父母など)	72	4.4%
その他	56	3.4%
未記入・無効等	93	5.7%
計	1,625	100.0%

○配偶者の有無

	回答数	割合
有	1,202	74.0%
無	323	19.9%
未記入・無効等	100	6.2%
計	1,625	100.0%

○共働き(配偶者がいる方のみ)

	回答数	割合
共働きである	677	56.3%
共働きではない	455	37.9%
未記入・無効等	70	5.8%
計	1,202	100.0%

○小学生以下の子どもの有無

	回答数	割合
いる(未就学児)	155	9.2%
いる(小学生)	184	10.9%
いない	1,176	69.6%
未記入・無効等	174	10.3%
計	1,689	100.0%

* 未就学児と小学生がいる回答者85名

○祖父母の家の範囲(小学生以下子どもがいる方のみ)

	回答数	割合
同居	89	32.4%
同じ敷地内の別家屋	29	10.5%
車で15分未満の範囲	84	30.5%
車で15～30分以内の範囲	34	12.4%
車で30分を超える範囲	21	7.6%
その他	5	1.8%
未記入・無効等	13	4.7%
計	275	100.0%

項目別の調査結果

問1 令和2年7月に「福井県長期ビジョン」が策定されました。あなたは「福井県長期ビジョン」について知っていましたか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答
1. 策定されたことを知っており、ビジョンの内容についてもよく知っている (13)
 2. 策定されたことを知っており、ビジョンの内容についても少しは知っている (83)
 3. 策定されたことは知っている (308)
 4. 策定されたことを知らない (1199)

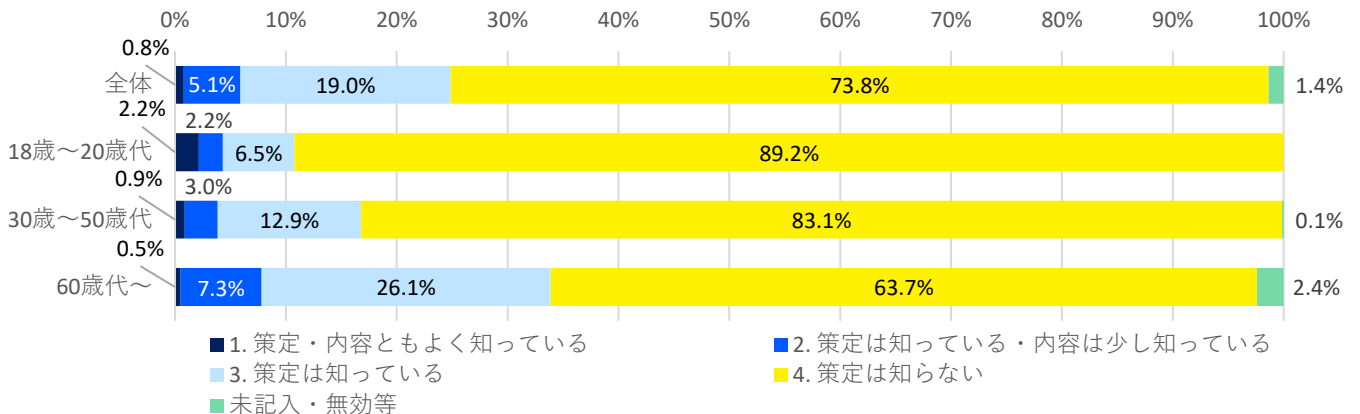
※上記カッコ内は、各項目の回答者数（問2以降も同様）

※下記グラフの割合は、「各項目の回答者数／回答者総数」（問2以降も同様）

※割合は小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※未記入・無効等の関係で、回答者数の合計と回答者総数が一致しない場合がある。

- ・長期ビジョンの策定を知っている（選択肢1～3の合計）割合は24.9%であった。
- ・年代別にみると、長期ビジョンの策定を知っている割合は、18歳～20歳代で10.9%、30歳～50歳代で16.8%、60歳以上で33.9%となり、年代が上がるにつれて高くなっている。

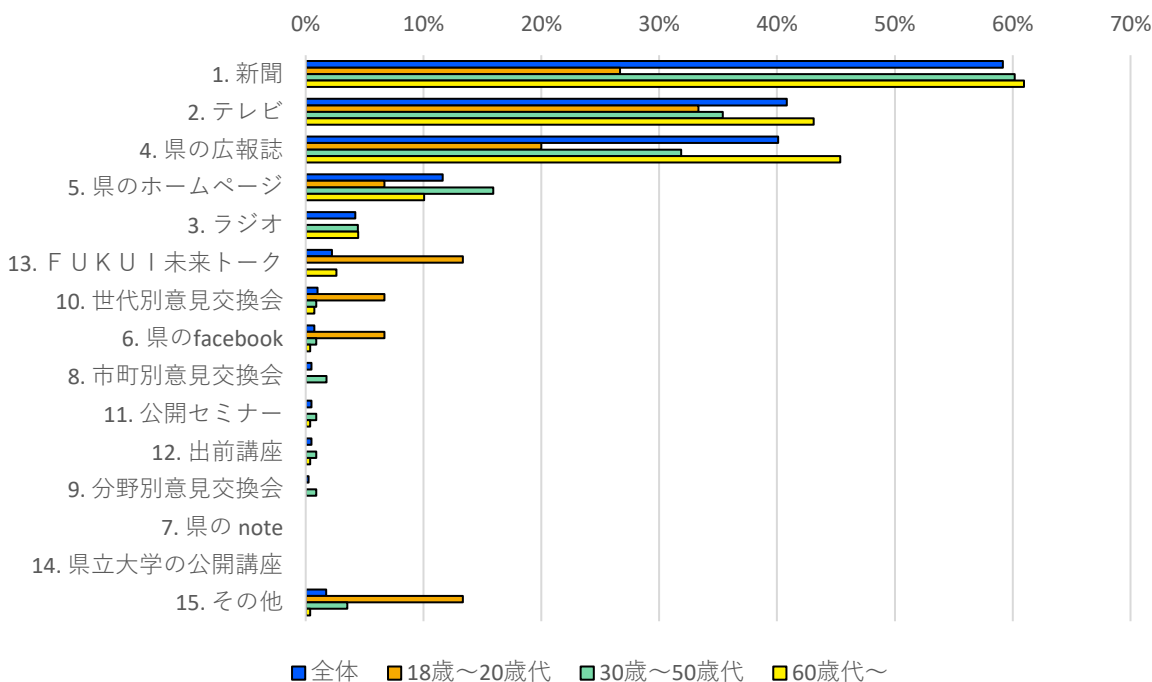


問2 問1で1～3と答えた方のみお答えください。あなたは「福井県長期ビジョン」を何によって知りましたか。この中からいくつでも選んで○をつけてください。

※下記グラフの割合は、「各項目の回答者数／回答者総数（問1の選択肢1～3の回答者数の合計）」

- 答
1. 新聞 (239)
 2. テレビ (165)
 3. ラジオ (17)
 4. 県の広報誌 (162)
 5. 県のホームページ (47)
 6. 県の facebook (3)
 7. 県の note (0)
 8. 市町別意見交換会 (2)
 9. 分野別意見交換会 (1)
 10. 世代別意見交換会 (4)
 11. 公開セミナー (2)
 12. 出前講座 (2)
 13. FUKUI 未来トーク (9)
 14. 県立大学の公開講座 (0)
 15. その他 (7)

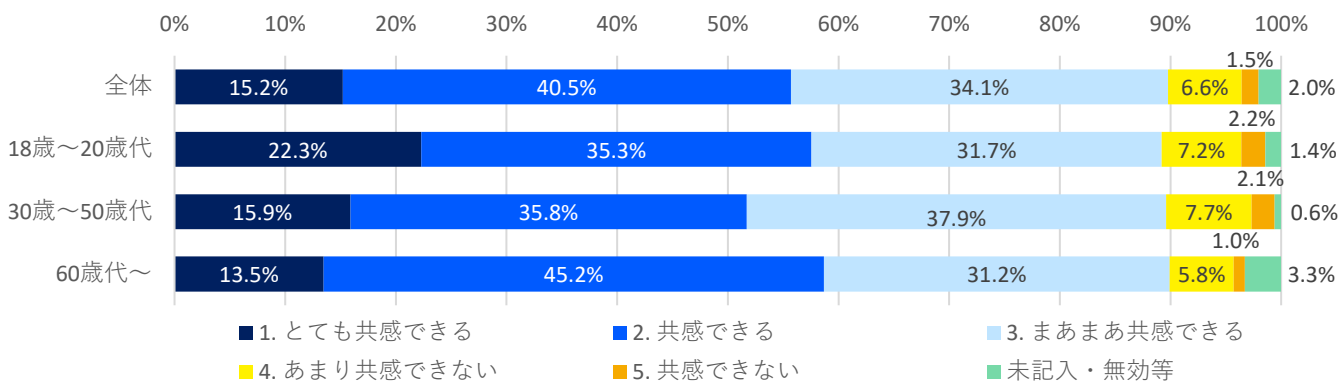
- ・「新聞」の割合が59.2%で最も高くなっている。
- ・年代別にみると、30歳以上は「新聞」の割合が最も高く、18歳～20歳代では「テレビ」の割合が最も高くなっている。また、18歳～20歳代は、他の年代と比べて「FUKUI未来トーク」や「世代別意見交換会」、「県のfacebook」の割合が高くなっている。



問3 あなたは、『安心のふくい』を未来につなぎ、もっと挑戦！ もっとおもしろく！』について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. とても共感できる (247) 2. 共感できる (658) 3. まあまあ共感できる (554)
4. あまり共感できない (108) 5. 共感できない (25)

- ・「とても共感できる」の割合が15.2%、「共感できる」が40.5%、「まあまあ共感できる」が34.1%で、回答者の89.8%から共感を得ている。
- ・年代別にみると、「とても共感できる」の割合は、18歳～20歳代で22.3%、30歳～50歳代で15.9%、60歳以上で13.5%となり、若い世代ほど高くなっている。

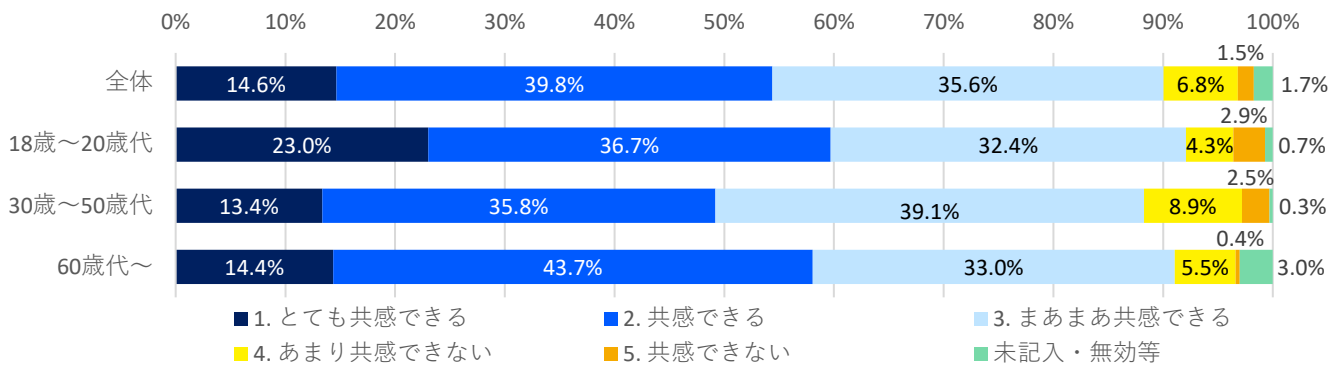


問4 「福井県長期ビジョン」では、「自信と誇りのふくい」「誰もが主役のふくい」「飛躍するふくい」を、2040年の福井県が目指す姿として示しています。

A あなたは、「自信と誇りのふくい」について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. とても共感できる (238) 2. 共感できる (646) 3. まあまあ共感できる (579)
4. あまり共感できない (110) 5. 共感できない (24)

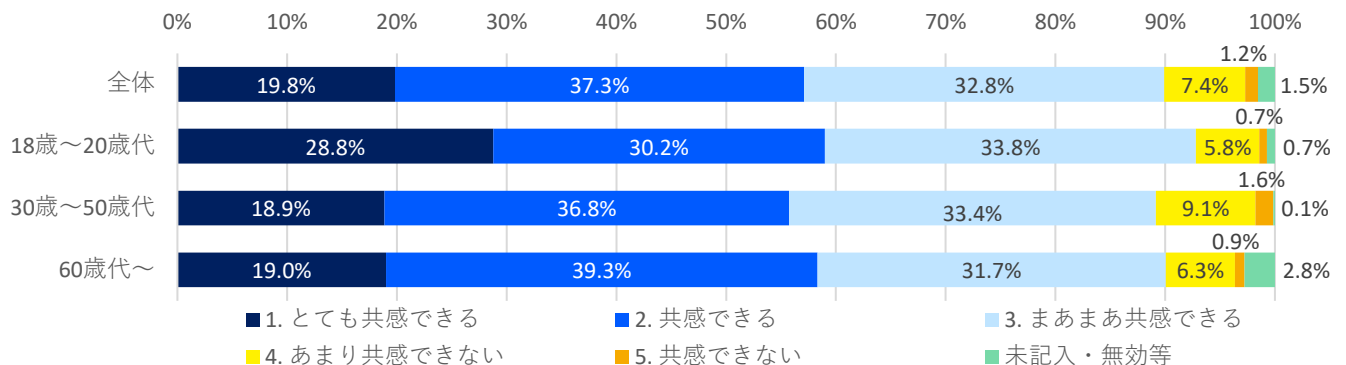
- ・「とても共感できる」の割合が14.6%、「共感できる」が39.8%、「まあまあ共感できる」が35.6%で、回答者の90.0%から共感を得ている。
- ・年代別にみると、「とても共感できる」「共感できる」を合わせた割合は、18歳～20歳代で59.7%、30歳～50歳代で49.2%、60歳以上では58.1%となり、18歳～20歳代と60歳以上は30歳～50歳代に比べて10ポイント程度高くなっている。



B あなたは、「誰もが主役のふくい」について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. とても共感できる (322) 2. 共感できる (606) 3. まあまあ共感できる (533)
4. あまり共感できない (120) 5. 共感できない (19)

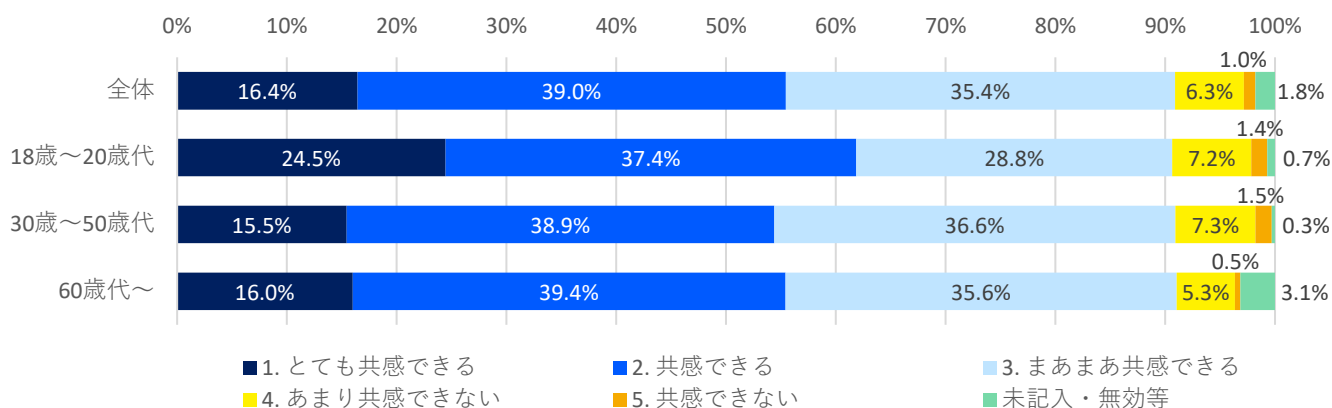
- ・「とても共感できる」の割合が19.8%、「共感できる」が37.3%、「まあまあ共感できる」が32.8%で、回答者の89.9%から共感を得ている。
- ・年代別にみると、「とても共感できる」の割合は、18歳～20歳代で28.8%、30歳～50歳代で18.9%、60歳以上では19.0%となり、18歳～20歳代が他の年代と比べて高くなっている。



C あなたは、「飛躍するふくい」について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. とても共感できる (267) 2. 共感できる (634) 3. まあまあ共感できる (576)
4. あまり共感できない (102) 5. 共感できない (17)

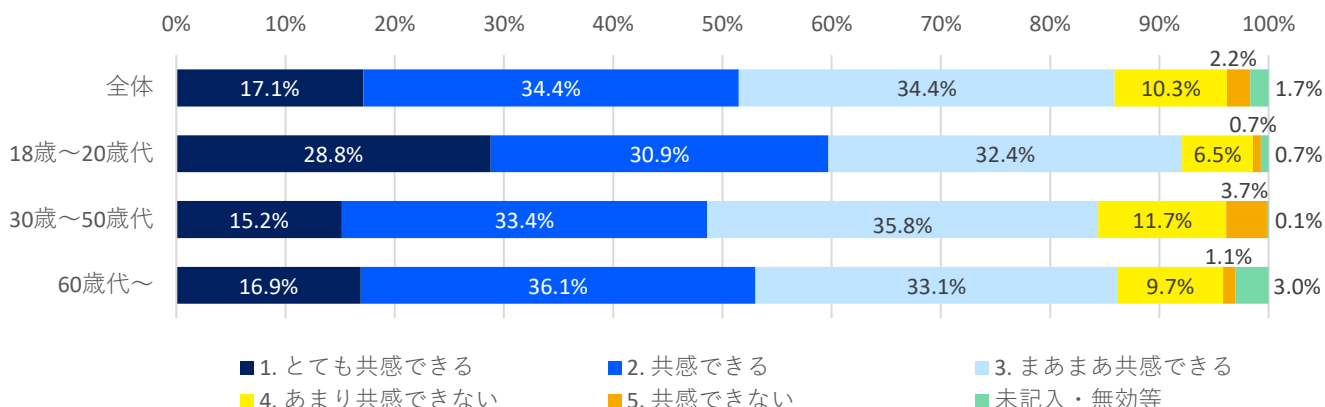
- ・「とても共感できる」の割合が 16.4%、「共感できる」が 39.0%、「まあまあ共感できる」が 35.4%で、回答者の 90.8%から共感を得ている。
- ・年代別にみると、「とても共感できる」「共感できる」「まあまあ共感できる」を合わせた割合は、18歳～20歳代で 90.7%、30歳～50歳代で 91.0%、60歳以上では 91.0%となり、世代間で割合の差が小さく、どの世代でも 90%を上回っている。



問5 あなたは、「しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい」について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. とても共感できる (278) 2. 共感できる (559) 3. まあまあ共感できる (559)
4. あまり共感できない (167) 5. 共感できない (35)

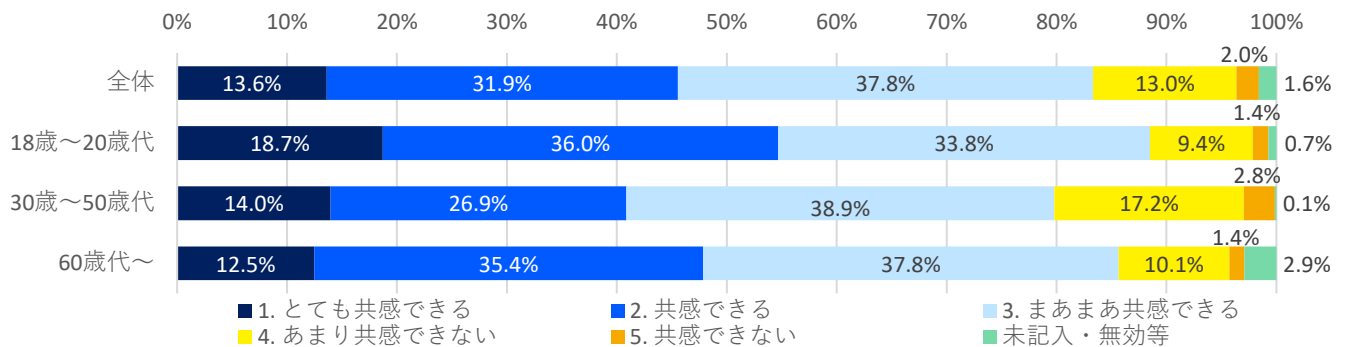
- ・「とても共感できる」の割合が 17.1%、「共感できる」が 34.4%、「まあまあ共感できる」が 34.4%で、回答者の 85.9%から共感を得ている。
- ・年代別にみると、「とても共感できる」の割合は、18歳～20歳代で 28.8%、30歳～50歳代で 15.2%、60歳以上では 16.9%となり、18歳～20歳代が他の年代と比べて高くなっている。



問6 あなたは、「とんがろう、ふくい」について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. とても共感できる (221) 2. 共感できる (519) 3. まあまあ共感できる (614)
4. あまり共感できない (212) 5. 共感できない (33)

- ・「とても共感できる」の割合が13.6%、「共感できる」が31.9%、「まあまあ共感できる」が37.8%で、回答者の83.3%から共感を得ている。
- ・年代別にみると、「とても共感できる」の割合は若い世代ほど高くなっているが、共感を得ている割合は18歳～20歳代に次いで60歳以上が高くなっている。

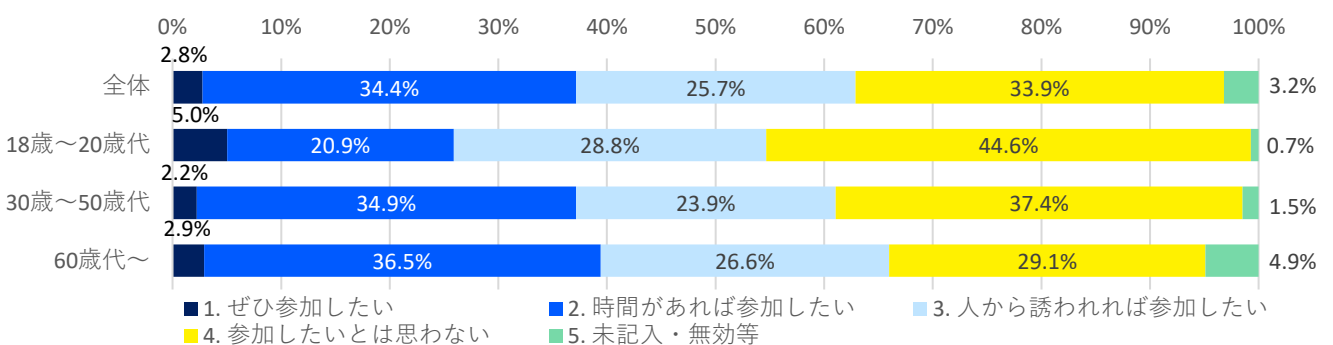


問7 「福井県長期ビジョン」における福井県の将来像を実現するには、どのようなことが必要だと思いますか。ご意見を自由に記載してください。(略)

問8 あなたは、「出前講座」や「FUKUI未来トーク」に参加したいと思いますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. ぜひ参加したい (45) 2. 時間があれば参加したい (559)
3. 人から誘われれば参加したい (418) 4. 参加したいとは思わない (551)

- ・「ぜひ参加したい」の割合が2.8%、「時間があれば参加したい」が34.4%、「人から誘われれば参加したい」が25.7%で、参加したいと考えている（選択肢1～3の合計）割合は62.9%となった。
- ・年代別にみると、参加したいと考えている割合は、18歳～20歳代で54.7%、30歳～50歳代で61.0%、60歳以上では66.0%となり、年代が上がるにつれて高くなっている。

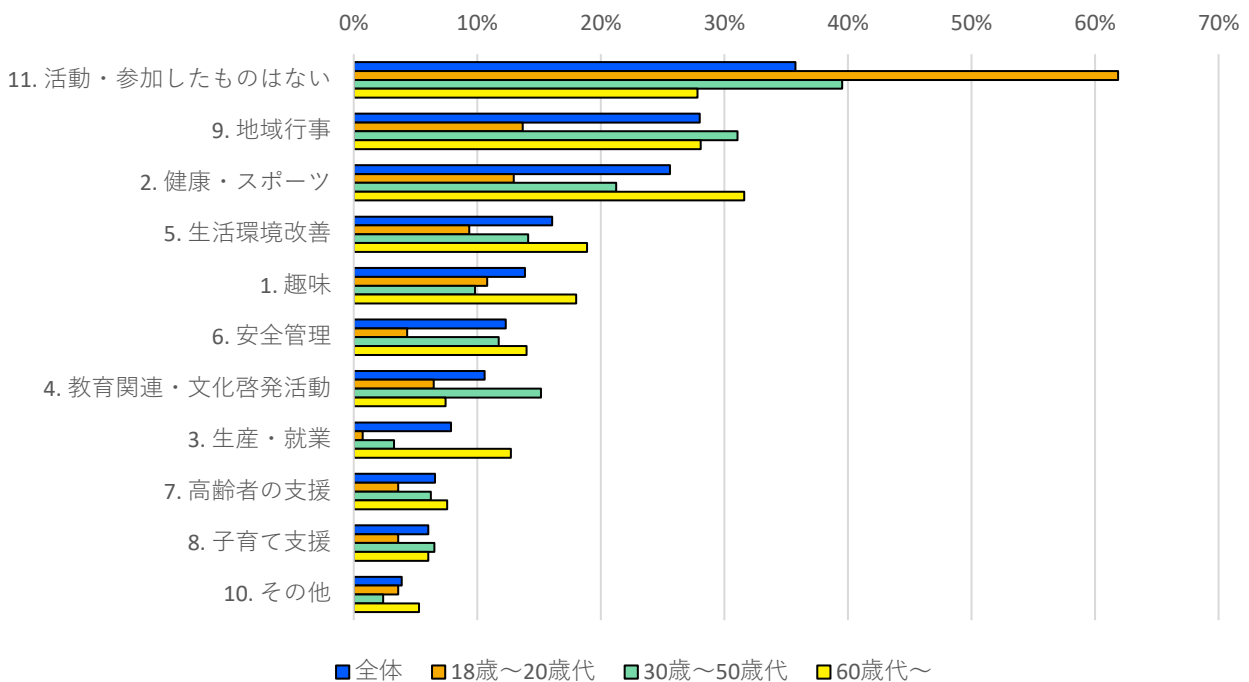


問9 あなたは、この1年間に、個人または友人と、あるいはグループや団体で自主的に行われている次のような活動を行った、または参加したことがありますか。この中からいくつでも選んで○をつけてください。

答

1. 趣味（俳句，詩吟，陶芸等）（225）
2. 健康・スポーツ（体操，歩こう会，ゲートボール等）（416）
3. 生産・就業（生きがいのための園芸・飼育，シルバー人材センター等）（128）
4. 教育関連・文化啓発活動（学習会，子供会の育成，郷土芸能の伝承等）（172）
5. 生活環境改善（環境美化，緑化推進，まちづくり等）（261）
6. 安全管理（交通安全，防犯・防災等）（200）
7. 高齢者の支援（家事援助，移送等）（107）
8. 子育て支援（保育への手伝い等）（98）
9. 地域行事（祭りなどの地域の催しものの世話等）（455）
10. その他（63）
11. 活動・参加したものはない（581）

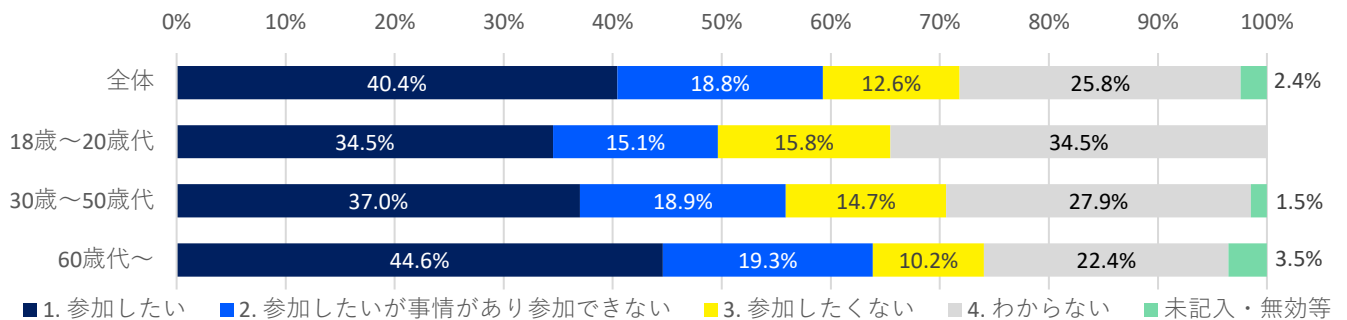
- ・「活動・参加したものはない」の割合が35.8%で最も高く、昨年度の調査の結果（19.1%）を大幅に上回った。「地域行事」が28.0%、「健康・スポーツ」が25.6%と続いている。
- ・年代別にみると、18歳～20歳代の「活動・参加したものはない」の割合が61.9%であり昨年度と同様に他の年代と比べて高くなっている。60歳以上では「健康・スポーツ」の割合が31.6%で最も高くなっている。



問10 あなたは、グループや団体で自主的に行われている活動(地域活動)に、今後とも(または今後は)、参加したいと思いますか。参加したくないと思いますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 参加したい (657) 2. 参加したいが、事情があって参加できない (306)
3. 参加したくない (204) 4. わからない (419)

・「参加したい」の割合が40.4%で、昨年度の調査の結果(45.6%)を下回った。
・年代別にみると、「参加したい」の割合は年代が上がるにつれて高くなっており、60歳以上では44.6%である。どの年代においても約30%の方が「参加できない」「参加したくない」と回答している。

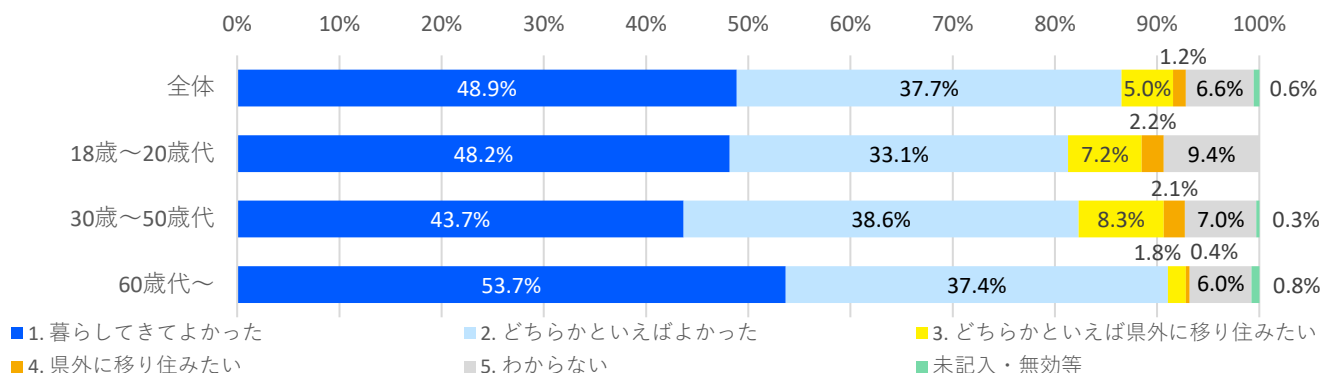


問11 身近な課題や地域の課題に対して、あなた自身は、どのようなことに取り組みたいと思いますか。ご意見を自由に記載してください。(略)

問12 あなたは自分が福井県に暮らしてきて良かったと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 暮らしてきてよかった (794) 2. どちらかといえば暮らしてきてよかった (612)
3. どちらかといえば県外に移り住みたい (82) 4. 県外に移り住みたい (20)
5. わからない (108)

・「暮らしてきてよかった」の割合が48.9%、「どちらかといえば暮らしてきてよかった」が37.7%で、暮らしに満足している(選択肢1・2の合計)割合が86.6%となり、昨年度の調査の結果(81.8%)から4.8ポイント増加した。

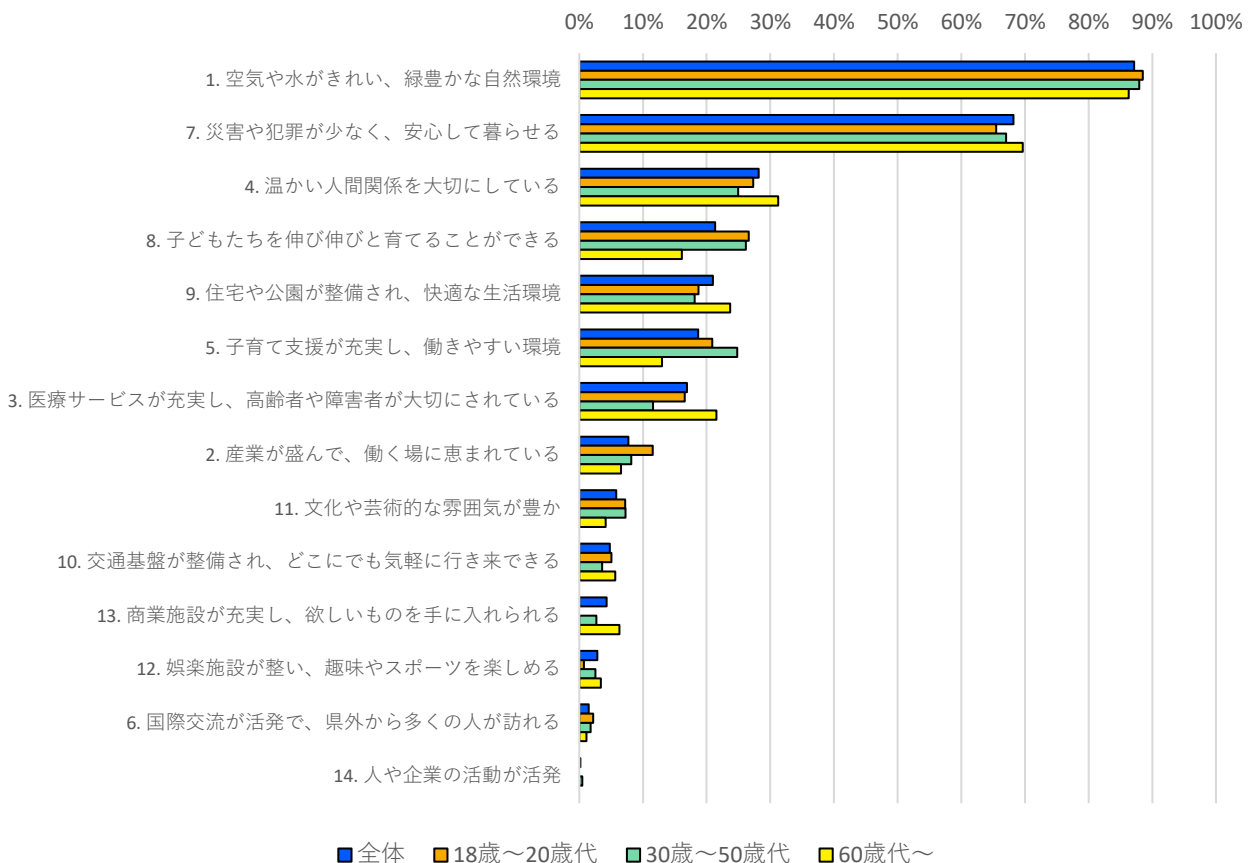


問13 福井県の良いところはどこだと思いますか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

答

1. 空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている (1416)
2. 産業が盛んで、働く場に恵まれている (125)
3. 福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障害を持つ人が大切にされている (275)
4. 地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている (458)
5. 子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている (303)
6. 国際交流や地域間交流が活発で、県外から多くの人を訪れている (24)
7. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる (1108)
8. 学校の教育や施設等が充実し、子どもたちを伸び伸びと育てることができる (347)
9. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる (341)
10. 道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる (78)
11. 伝統芸能や創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かである (94)
12. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる (46)
13. 商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる (70)
14. 人口が多く、人や企業の活動が活発である (3)

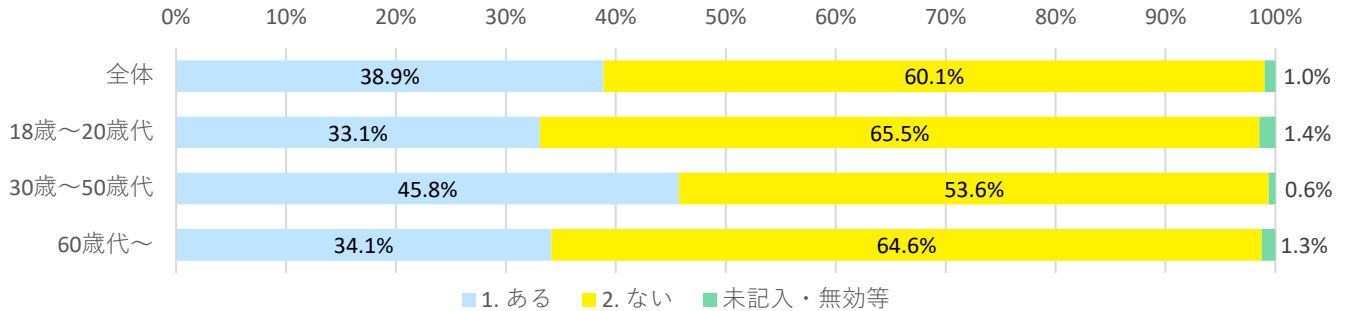
・「空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている」が87.1%、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」が68.2%と、ともに50%を大きく上回っている。



問14 あなたは過去に1年以上、福井県以外の地域で暮らしたことがありますか。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

答 1. ある (632) 2. ない (977)

- ・「過去に1年以上、福井県以外の地域で暮らしたことがある」の割合が38.9%となり、昨年度の調査の結果(39.8%)から減少している。
- ・世代別にみると、30歳～50歳代の「過去に1年以上、福井県以外の地域で暮らしたことがある」の割合が、他の世代と比べて高くなっている。

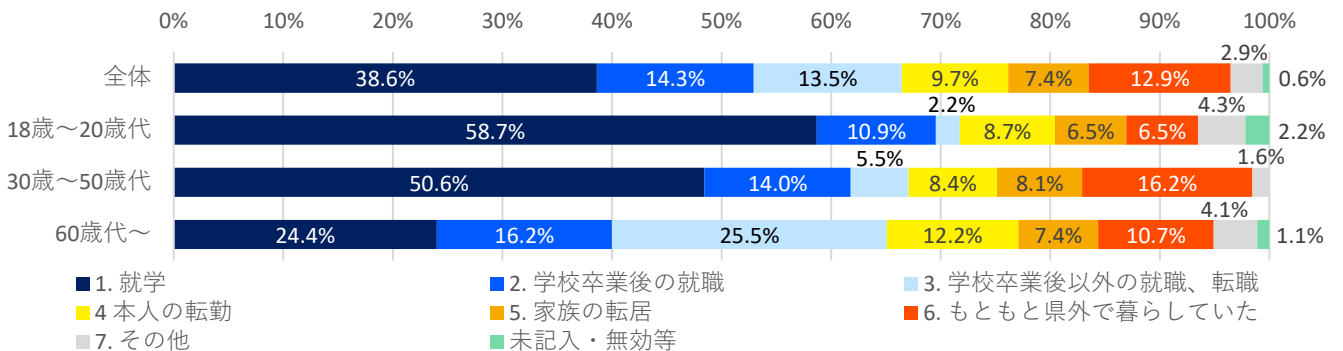


問15 問14で1と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域で暮らすことになった理由について、当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。複数ある場合には、初めて県外で暮らすことになった時のことについてお答えください。

※下記グラフの割合は、「各項目の回答者数/回答者総数(問14の選択肢1の回答者数)」(問16～問18も同様)

- 答
1. 就学(専門学校、大学、大学院)(251)
 2. 学校(高校、専門学校、大学、大学院)卒業後の就職(93)
 3. 2以外の就職、転職(88) 4. 本人の転勤(63) 5. 家族の転居(48)
 6. もともと県外で暮らしていた(84) 7. その他(19)

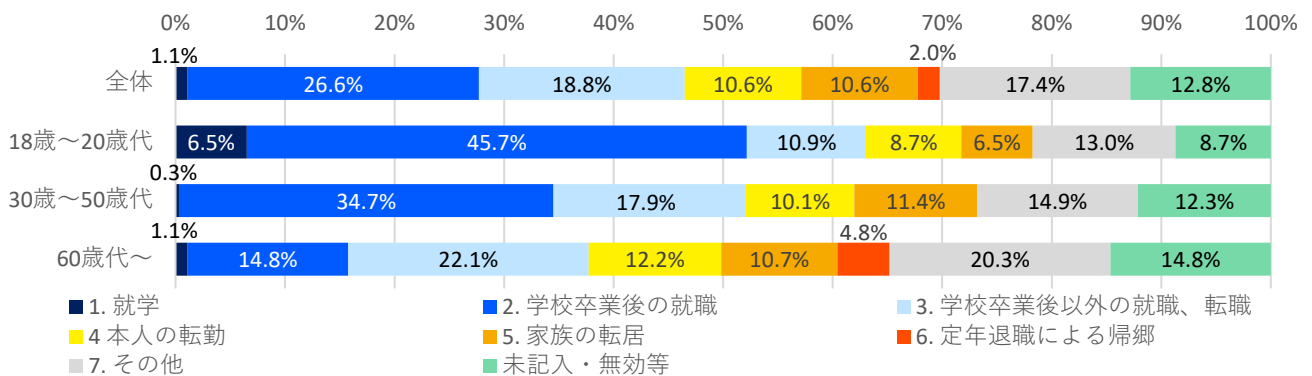
- ・「就学」の割合は38.6%で最も高いが、昨年度の調査の結果(45.0%)を下回った。「学校卒業後の就職」14.3%、「学校卒業後以外の就職、転職」13.5%と続いているが、こちらは両者とも昨年度の調査の結果(学校卒業後は10.2%、卒業後以外は11.6%)を上回った。
- ・世代別にみると、30歳～50歳代では「もともと県外で暮らしていた」の割合が16.2%と他の世代と比べて高く、60歳以上では「学校卒業後以外の就職、転職」25.5%が最も高い。



問16 問14で1と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域から福井県に戻る（来る）ことになった理由について、当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。複数ある場合には、初めて戻る（来る）ことになった時のことについてお答えください。

- 答
1. 就学（専門学校、大学、大学院）（7）
 2. 学校（高校、専門学校、大学、大学院）卒業後の就職（170）
 3. 2以外の就職、転職（120）
 4. 本人の転勤（68）
 5. 家族の転居（68）
 6. 定年退職による帰郷（13）
 7. その他（111）

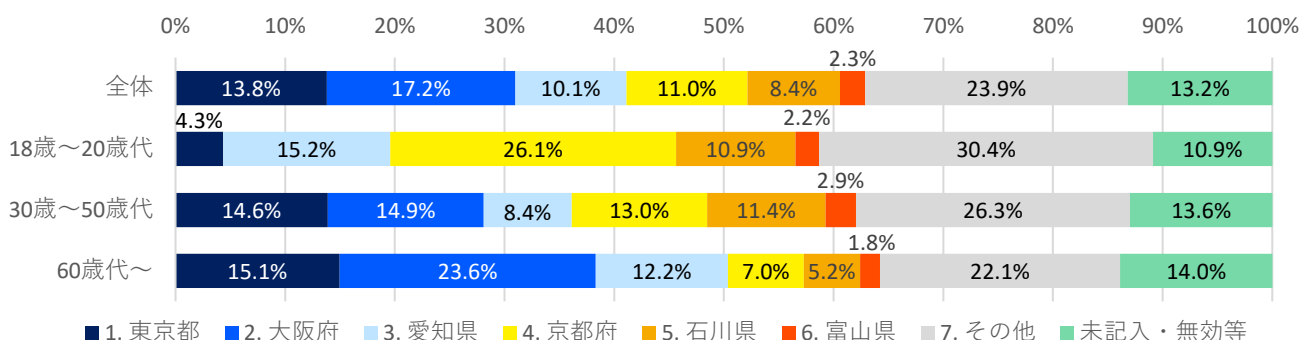
- ・「学校卒業後の就職」の割合が26.6%で最も高く、「学校卒業後以外の就職、転職」が18.8%と続いている。
- ・18歳～50歳代では、就職（選択肢2・3の合計）の割合が50%を上回っている。



問17 問14で1と答えた方のみお答えください。福井県以外で暮らしたことがある地域はどこですか。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。複数ある場合には、もっとも長く暮らした地域をお答えください。

- 答
1. 東京都（90）
 2. 大阪府（112）
 3. 愛知県（66）
 4. 京都府（72）
 5. 石川県（55）
 6. 富山県（15）
 7. その他（156）

- ・「大阪府」の割合が17.2%で最も高く、「東京都」が13.8%、「京都府」が11.0%と続いている。
- ・年代別にみると、18歳～20歳代で「京都府」の割合が最も高くなっている一方で、30歳以上では「大阪府」の割合が最も高くなっている。

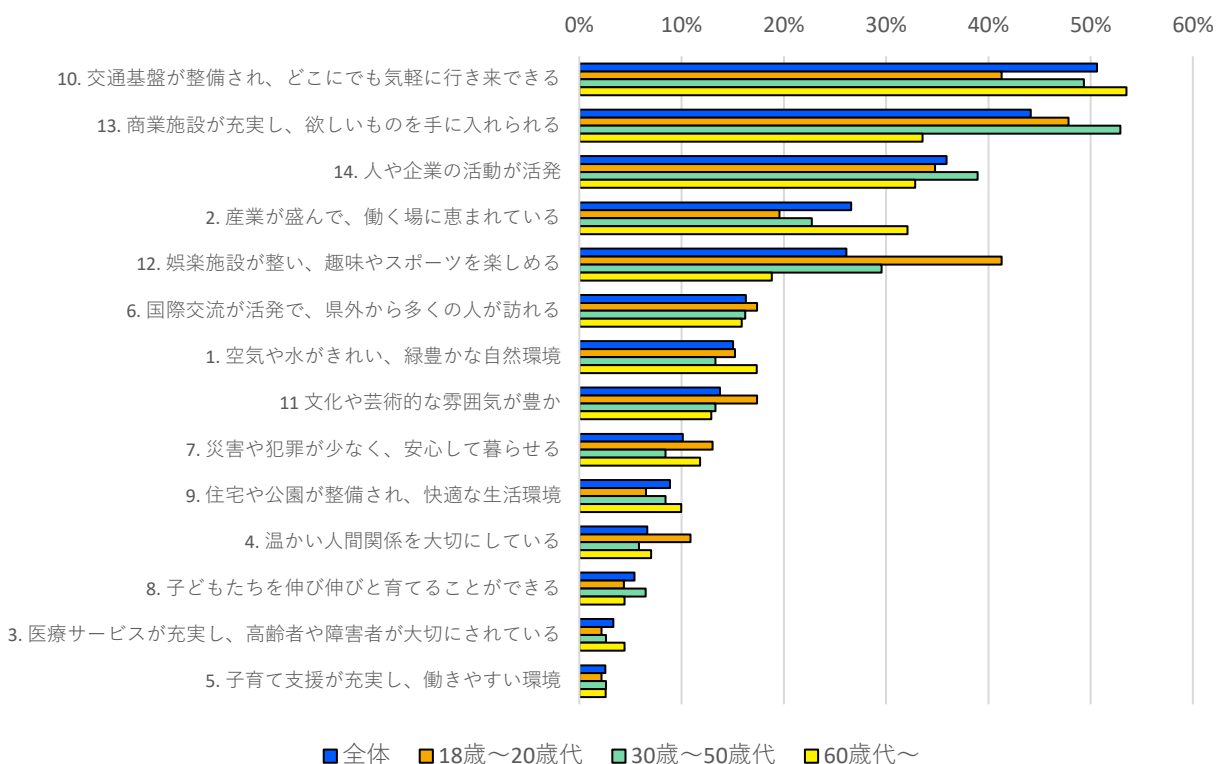


問18 問14で1と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域で暮らしてみても、福井県よりも良かったと思うことは何ですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

答

1. 空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている (95)
2. 産業が盛んで、働く場に恵まれている (168)
3. 福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている (21)
4. 地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている (42)
5. 子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている (16)
6. 国際交流や地域間交流が活発で、県外から多くの人を訪れている (103)
7. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる (64)
8. 学校の教育や施設等が充実し、子どもたちを伸び伸びと育てることができる (34)
9. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる (56)
10. 道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる (320)
11. 伝統芸能や創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かである (87)
12. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる (165)
13. 商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる (279)
14. 人口が多く、人や企業の活動が活発である (227)

- ・「道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる」が50.6%で最も割合が高くなっている。
- ・年代別にみると、18歳～50歳代では「商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる」の割合が最も高い。一方で、60歳以上では「道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる」の割合が最も高く、「産業が盛んで、働く場に恵まれている」の割合が他の世代と比べて高くなっている。「娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる」は、若い世代ほど割合が高くなっている。



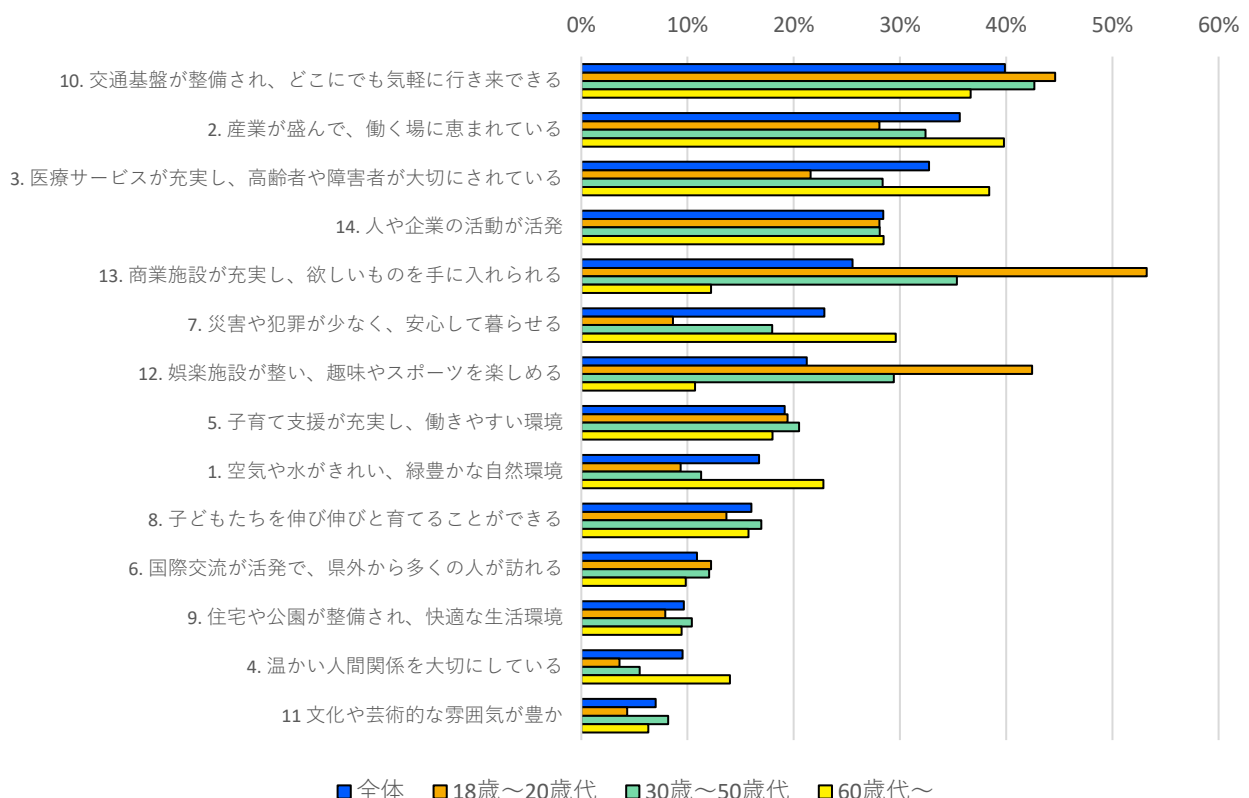
問19 将来の福井県が今よりも良くなってほしいと思うところはどこですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

答

1. 空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている (272)
2. 産業が盛んで、働く場に恵まれている (579)
3. 福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている (532)
4. 地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている (155)
5. 子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている (311)
6. 国際交流や地域間交流が活発で、県外から多くの人を訪れている (177)
7. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる (372)
8. 学校の教育や施設等が充実し、子どもたちを伸び伸びと育てることができる (260)
9. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる (157)
10. 道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる (648)
11. 伝統芸能や創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かである (114)
12. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる (345)
13. 商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる (415)
14. 人口が増加し、人や企業の活動が活発な地域になる (462)

・「道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる」が39.9%で最も割合が高くなっている。「産業が盛んで、働く場に恵まれている」は35.6%であり、昨年度の調査の結果(28.3%)から増加した。

・年代別にみると、「商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる」「娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる」は、若い世代ほど割合が高くなっている。一方で、「産業が盛んで、働く場に恵まれている」、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。



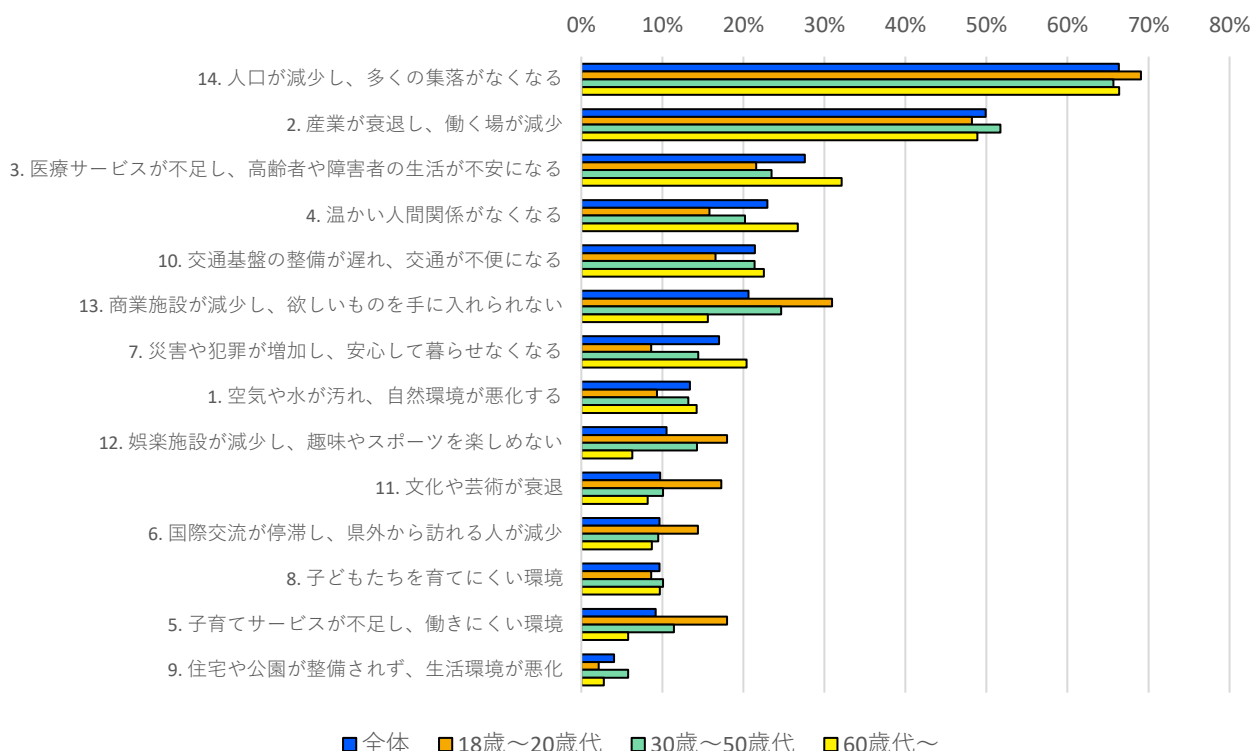
問20 将来の福井県が今よりも悪くなるのではないかと心配に思うところはどこですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

答

1. 空気や水が汚れ、緑が少なくなり自然環境が悪化する (218)
2. 産業が衰退し、働く場が不足する (811)
3. 福祉や医療サービスが不足し、高齢者や障がいを持つ人の生活が不安定になる (448)
4. 地域コミュニティの結びつきが希薄になり、温かい人間関係がなくなる (373)
5. 子育てサービスが不足し、働きにくい環境になる (149)
6. 国際交流や地域間交流が停滞し、県外から訪れる人が減少する (157)
7. 災害や犯罪が増加し、安心して暮らすことができなくなる (276)
8. 学校の教育や施設等の水準が低下し、子どもたちを育てにくい環境になる (157)
9. 住宅や公園、下水道などが整備されず、生活環境が悪化する (66)
10. 道路や鉄道などの交通基盤の整備が遅れ、交通が不便になる (348)
11. 伝統芸能や創作活動が低迷し、文化や芸術が衰退する (158)
12. 娯楽施設が減少し、趣味やスポーツを楽しむことができなくなる (171)
13. 商業施設等が減少し、欲しいものをなかなか手に入れることができなくなる (335)
14. 人口が減少し、多くの集落がなくなったり、なくなる恐れがある (1078)

・「人口が減少し、多くの集落がなくなったり、なくなる恐れがある」が66.3%で最も割合が高くなっており、昨年度の調査の結果(62.8%)から増加した。

・年代別にみると、18歳～20歳代では、「伝統芸能や創作活動が低迷し、文化や芸術が衰退する」、「国際交流や地域間交流が停滞し、県外から訪れる人が減少する」、「子育てサービスが不足し、働きにくい環境になる」が他の年代と比べて高くなっている。「地域コミュニティの結びつきが希薄になり、温かい人間関係がなくなる」は、年代が上がるにつれて割合も高くなっている。「人口が減少し、多くの集落がなくなったり、なくなる恐れがある」は世代間で割合の差が小さく、全ての世代で同様に高くなっている。



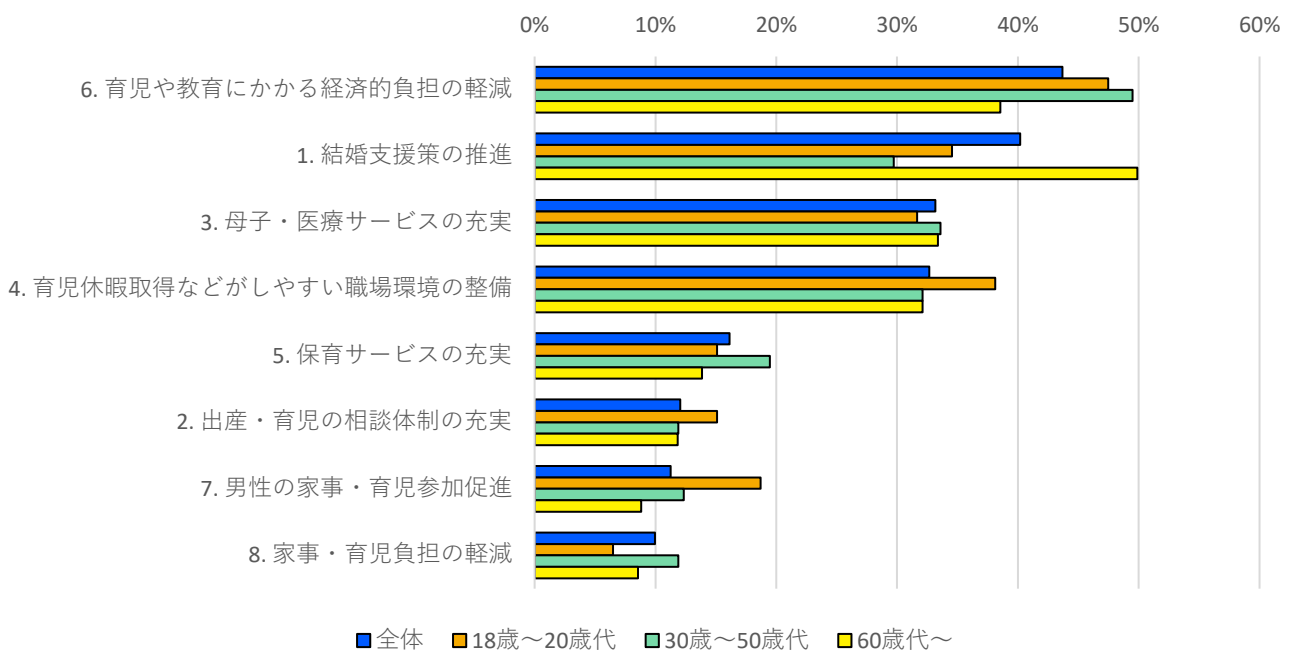
問 2 1 福井県の良いところ、伸ばしたいところは、何ですか。また、改善すると良いと思うところは、何ですか。ご意見を自由に記載してください。(略)

問 2 2 福井県の人口減少対策（主に自然減対策）に関して、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 若者の出会いの場の提供などの結婚支援策を推進すること (653)
 2. 気軽に出産・育児の相談ができる体制を充実すること (196)
 3. 安心して出産・子育てができる母子・医療サービスを充実すること (539)
 4. 企業における産前・産後休暇や育児休業が取得しやすい職場環境の整備を支援すること (531)
 5. 保育所やこども園の保育サービスを充実すること (262)
 6. 育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと (710)
 7. 男性の家事・育児への参加を促進すること (183)
 8. 家事代行サービスや、ベビーシッターなど家事・育児の負担を軽減するための支援を行うこと (162)

・「育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと」が 43.7%で最も割合が高くなっている。

・年代別にみると、18歳～50歳代では、「育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと」の割合が高い。一方で、60歳以上では、「若者の出会いの場の提供などの結婚支援策を推進すること」の割合が他の世代と比べて高くなっている。18歳～20歳代では、「企業における産前・産後休暇や育児休業が取得しやすい職場環境の整備を支援すること」、「男性の家事・育児への参加を促進すること」の割合が他の年代と比べて高くなっている。



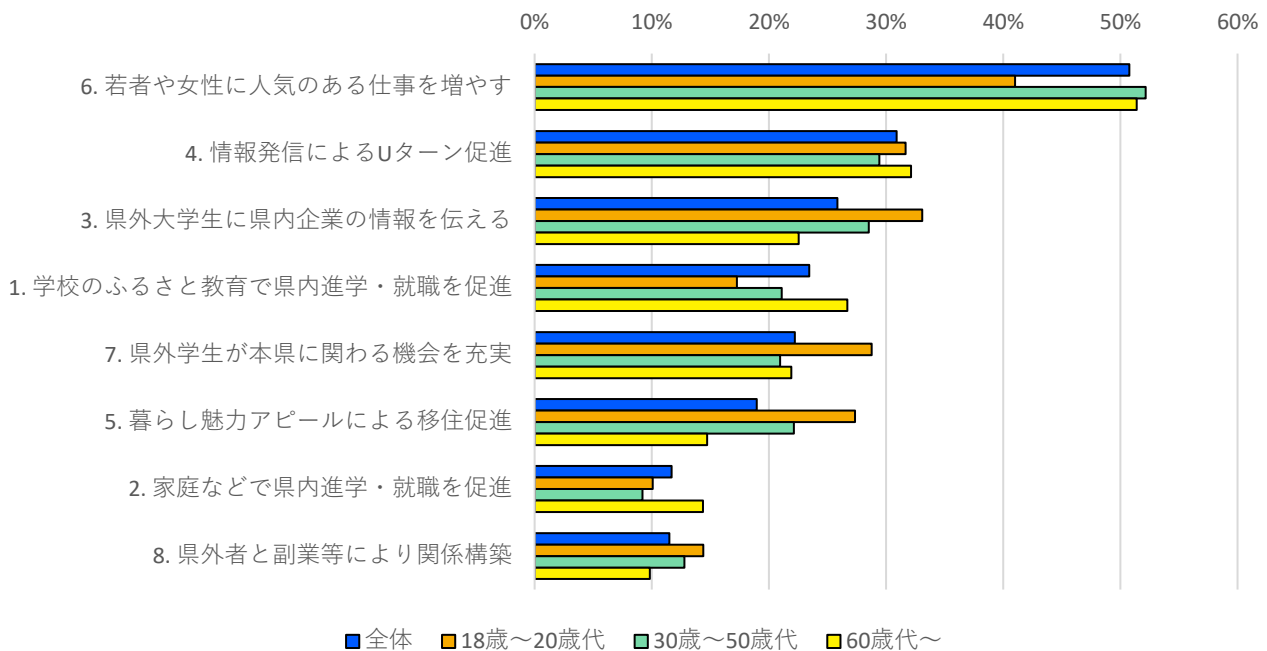
問23 福井県の人口減少対策（主に社会減対策）に関して、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

答

1. 学校でのふるさと教育を充実して県内での進学・就職を促すこと(381)
2. 家族などが子どもに対して県内での進学・就職を促すこと(190)
3. 県外大学との連携を強化し、県内企業の情報を学生に直接伝えるなどの仕組みを整備すること(420)
4. 県外に住む本県出身者に福井の情報を定期的に発信することにより、本県へのUターンを促進すること(502)
5. 三大都市圏などで福井の暮らしの魅力をアピールして移住を促進すること(308)
6. 企業誘致などにより企画開発や研究部門等の若者や女性に人気のある仕事を増やすこと(825)
7. 県外の学生や若者が本県に滞在し地域課題の解決に取り組むプロジェクトなど、本県に深く関わる機会を充実すること(361)
8. 県外者が兼業・副業等により、本県へ定期的に訪れる関係を構築すること(187)

・「企業誘致などにより企画開発や研究部門等の若者や女性に人気のある仕事を増やすこと」が50.8%で最も割合が高くなっている。

・年代別にみると、「企業誘致などにより企画開発や研究部門等の若者や女性に人気のある仕事を増やすこと」では、18歳～20歳代と比べて30歳以上の割合が高い。一方で、「県外の学生や若者が本県に滞在し地域課題の解決に取り組むプロジェクトなど、本県に深く関わる機会を充実すること」では他の年代と比べて18歳～20歳代の割合が高くなっている。

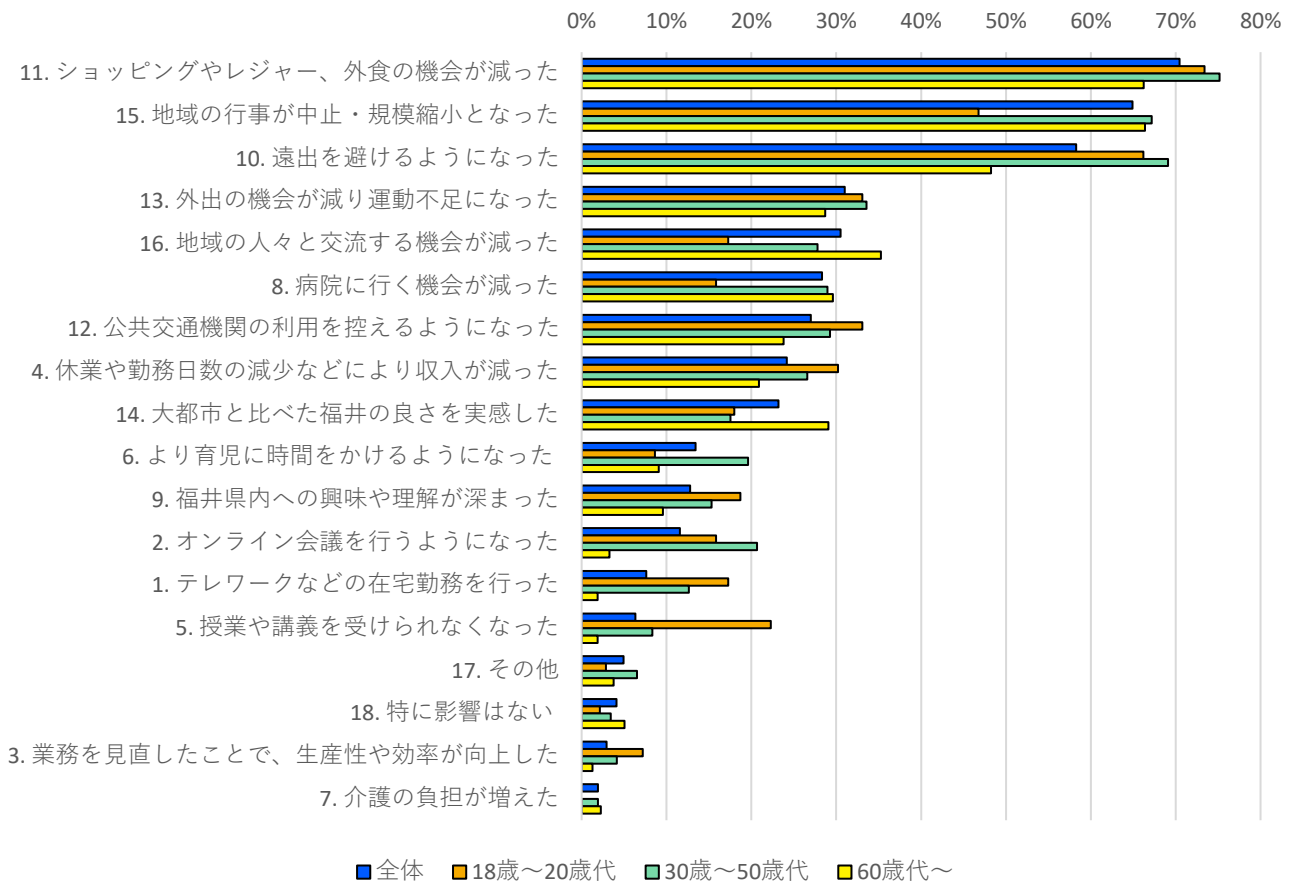


問24 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、あなたはどのような影響を受けましたか。
当てはまるものをいくつでも選んで○をつけてください。

答

1. テレワークなどの在宅勤務を行った(124)
2. 社内会議や遠方の取引先との打ち合わせなどをオンラインで行うようになった(188)
3. 新たに機材やシステムを導入し業務を見直したことで、生産性や効率が向上した(48)
4. あなたやあなたの家族の勤務先の休業や勤務日数の減少などにより収入が減った(393)
5. 高校・大学の休業により授業や講義を受けられなくなった(103)
6. 学校や幼稚園・保育園・こども園の休業などで、より育児に時間をかけるようになった(218)
7. 介護施設の休業などにより介護の負担が増えた(31)
8. 感染リスクを避けるなどの理由で病院に行く機会が減った(460)
9. 近場に足を運ぶ機会が増え、福井県内への興味や理解が深まった(208)
10. 出張・観光など遠出を避けるようになった(947)
11. ショッピングやレジャー、外食の機会が減った(1145)
12. 鉄道やバスなど、公共交通機関の利用を控えるようになった(439)
13. 外出の機会が減り運動不足になった(504)
14. 大都市と比べた福井の良さを実感した(377)
15. 地域の行事が中止・規模縮小となった(1055)
16. 近所づきあいや自身の住む地域の人々と交流する機会が減った(496)
17. その他(80)
18. 特に影響はない(67)

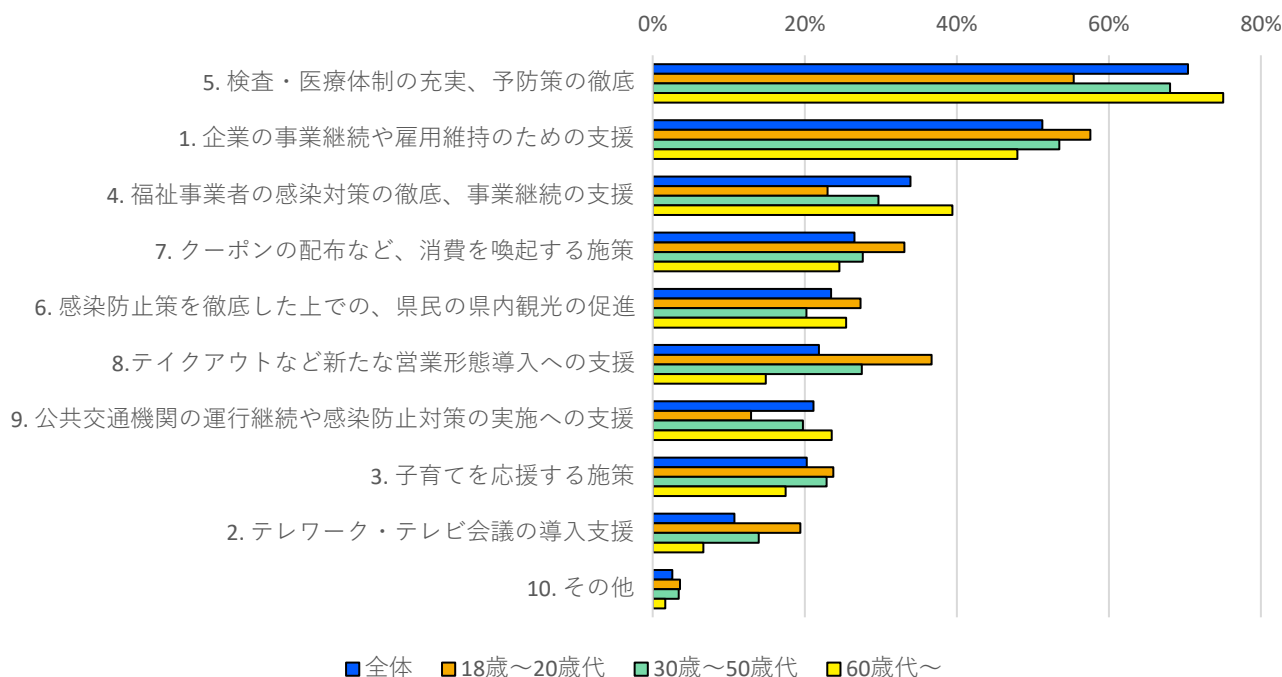
- ・「ショッピングやレジャー、外食の機会が減った」が70.5%で最も割合が高くなっている。
- ・年代別にみると、18歳～50歳代で「ショッピングやレジャー、外食の機会が減った」が最も高く、60歳以上では「地域の行事が中止・規模縮小となった」が最も高くなっている。
- ・「近所づきあいや自身の住む地域の人々と交流する機会が減った」、「大都市と比べた福井の良さを実感した」では60歳以上の割合が高い。一方で、「鉄道やバスなど、公共交通機関の利用を控えるようになった」、「近場に足を運ぶ機会が増え、福井県内への興味や理解が深まった」では、若い世代ほど割合が高くなっている。



問 2 5 新型コロナウイルス感染症に関する対策について、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 企業の事業継続や雇用維持のための支援 (833)
 2. テレワーク・テレビ会議の導入支援 (175)
 3. 子育てを応援する施策 (329)
 4. 福祉事業者の感染対策の徹底、事業継続の支援 (551)
 5. 検査・医療体制の充実、予防策の徹底 (1144)
 6. 感染防止策を徹底した上での、県民の県内観光の促進 (381)
 7. クーポンの配布など、消費を喚起する施策 (431)
 8. テイクアウトやオンライン販売などウィズコロナの営業形態導入への支援 (355)
 9. 地域公共交通機関の運行継続や感染防止対策の実施に対する支援 (344)
 10. その他 (42)

- ・「検査・医療体制の充実、予防策の徹底」が70.4%で最も割合が高い。
- ・年代別にみると、18歳～20歳代で「企業の事業継続や雇用維持のための支援」が最も高く、30歳以上では「検査・医療体制の充実、予防策の徹底」が最も高くなっている。
- ・「企業の事業継続や雇用維持のための支援」、「クーポンの配布など、消費を喚起する施策」、「テイクアウトやオンライン販売などウィズコロナの営業形態導入への支援」では若い世代ほど割合が高い。一方で、「検査・医療体制の充実、予防策の徹底」、「福祉事業者の感染対策の徹底、事業継続の支援」、「地域公共交通機関の運行継続や感染防止対策の実施に対する支援」では年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

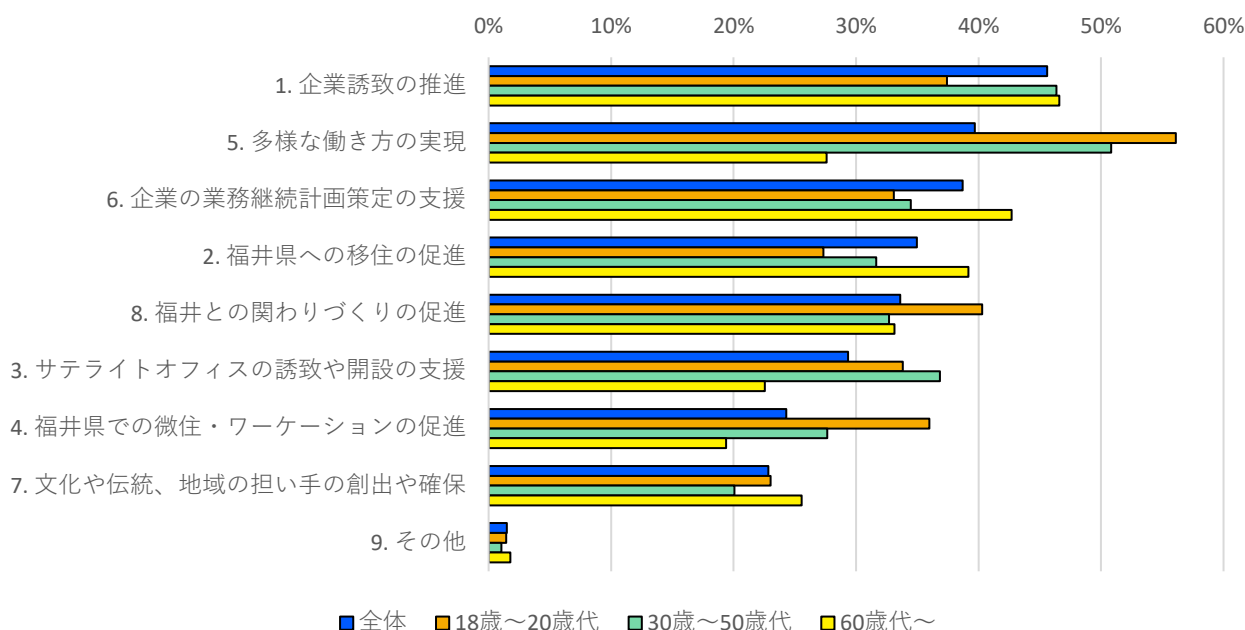


問26 新型コロナウイルス感染症をきっかけとして、地方での生活や地域の文化への関心、時間や場所を選ばない多様な働き方への注目が高まっています。

今後の政策として、あなたはどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 産業の国内回帰にあわせた企業誘致の推進 (741)
 2. 都市圏における移住支援体制の強化など、福井県への移住の促進 (568)
 3. サテライトオフィスの誘致や開設の支援 (477)
 4. 福井県での微住・ワーケーションの促進 (395)
 5. フレックスタイム制やテレワークなど、一人ひとりの希望に沿った多様な働き方の実現 (645)
 6. 災害や感染症などのリスクに備えた、企業の業務継続計画（BCP）策定の支援 (629)
 7. 文化や伝統、地域のつながりを維持・発展させる担い手の創出や確保 (371)
 8. 福井で開催されるイベントへの定期的な参加やふるさと納税・クラウドファンディングによる地域支援など、定住に限らない福井との関わりづくりの促進 (546)
 9. その他 (24)

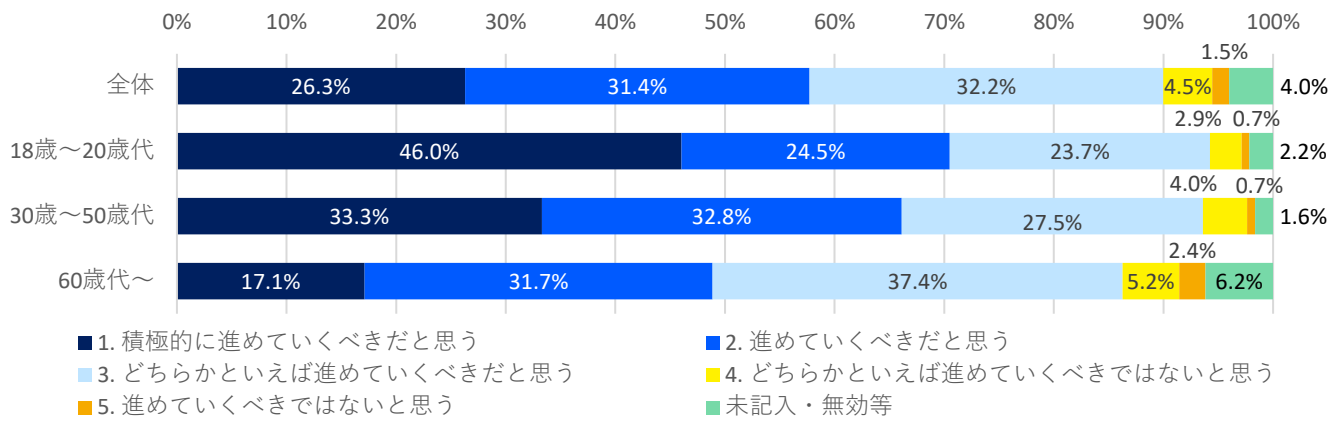
- ・「産業の国内回帰にあわせた企業誘致の推進」が45.6%で最も割合が高く、30歳以上の割合は4割を越えている。
- ・年代別にみると、「フレックスタイム制やテレワークなど、一人ひとりの希望に沿った多様な働き方の実現」の割合が、18歳～50歳代では50%を上回っているのに対し、60歳以上は27.6%となっている。「定住に限らない福井との関わりづくりの促進」、「福井県での微住・ワーケーションの促進」では18歳～20歳代の割合が高い。一方で「災害や感染症などのリスクに備えた、企業の業務継続計画（BCP）策定の支援」、「都市圏における移住支援体制の強化など、福井県への移住の促進」では、60歳以上の割合が高くなっている。



問27 生活の利便性を向上させるデジタル技術の普及・活用が進んでいます。あなたは、社会のデジタル化を進めていくべきだと思いますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 積極的に進めていくべきだと思う (427)
 2. 進めていくべきだと思う (511)
 3. どちらかといえば進めていくべきだと思う (524)
 4. どちらかといえば進めていくべきではないと思う (73)
 5. 進めていくべきではないと思う (25)

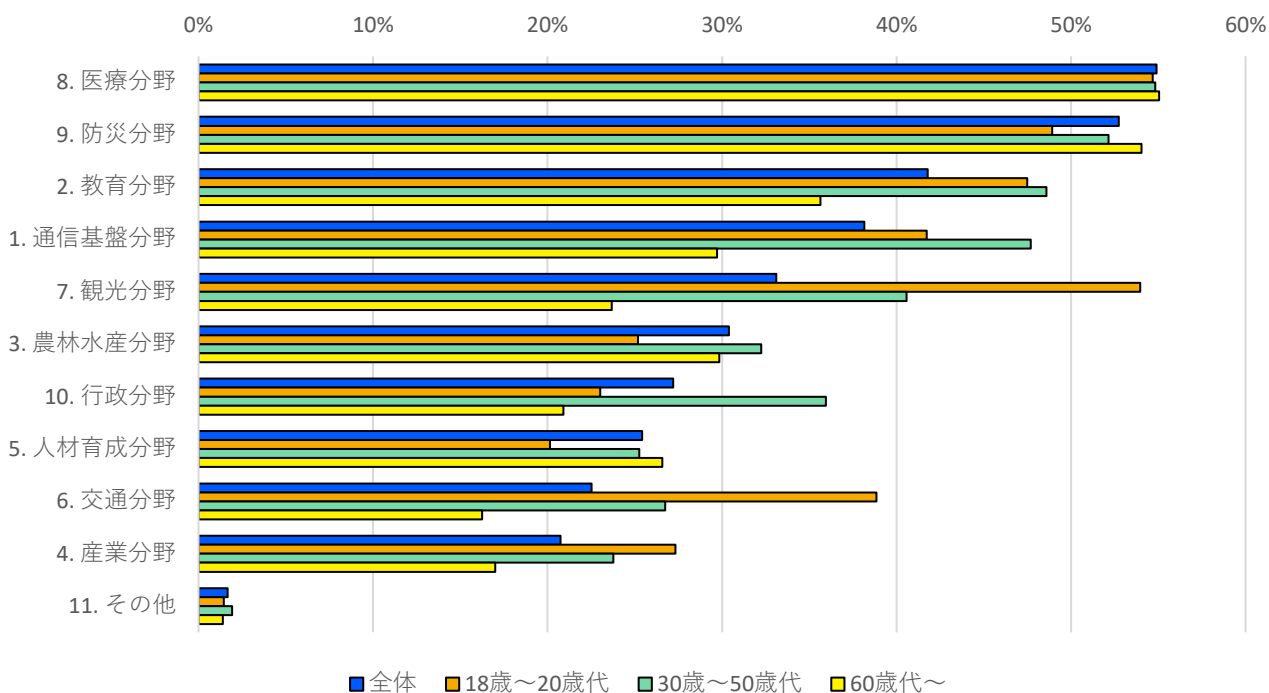
- ・「積極的に進めていくべきだと思う」の割合が26.3%、「進めていくべきだと思う」が31.4%、「どちらかといえば進めていくべきだと思う」が32.2%で、回答者の89.9%がデジタル化を進めていった方が良いと考えている。
- ・年代別にみると、進めていった方が良いと考えている割合はいずれの世代も8割を越えており、特に「積極的に進めていくべきだと思う」の割合は若い世代ほど高い。



問 2 8 デジタル技術を用いて県民の生活をより良いものにするため、あなたはどの分野にデジタル技術が活用されていくべきだと思いますか。当てはまるものをいくつでも選んで○をつけてください。

- 答**
1. 通信基盤分野：デジタル技術の基盤となる通信環境整備の支援 など(620)
 2. 教育分野：オンライン授業、個人用タブレットの導入、データ技術やA Iを活用した一人ひとりに合わせた教育の提供 など(679)
 3. 農林水産分野：トラクターや給餌機といった機械の自動化、ドローンやロボットの導入による省力化 など(494)
 4. 産業分野：県内企業のデジタル技術導入の支援、部品の自動発注などI o Tによる企業間連携の促進、キャッシュレス決済導入の支援 など(337)
 5. 人材育成分野：A I・プログラミング・I o Tといった新技術を活用できる人材の確保と育成 など(413)
 6. 交通分野：鉄道やバスの自動運転の実現、乗継や支払をI C Tによって一体的に行える移動サービス(M a a S)の実現 など(366)
 7. 観光分野：W i e F i環境の整備、A Iを取り入れた翻訳技術の活用による観光施設や宿泊施設の多言語化 など(538)
 8. 医療分野：5 Gを活用した遠隔診療・手術、A Iによる診療支援、診療や検診の情報を病院同士で共有できるネットワークの拡大 など(892)
 9. 防災分野：道路や河川などのデータ収集技術の向上、スマートフォンなどを用いた迅速な防災情報の発信、I T機器を活用した避難所運営 など(857)
 10. 行政分野：行政手続のオンライン化、データ技術を活用した政策立案 など(442)
 11. その他(27)

- ・「医療分野」が54.9%で最も割合が高くなっている。
- ・年代別にみると、18歳～20歳代では「観光分野」が最も高く、30歳以上は「医療分野」が最も高くなっている。
- ・「観光分野」、「交通分野」では18歳～20歳代の割合が高くなっている。一方で、「行政分野」では30歳～50歳代の割合が高くなっている。「医療分野」は世代間で割合の差が小さく、全ての世代で同様に高くなっている。



問29 本県の暮らしの「現在の充足度」と「将来の重要度」についてお聞きします。あなたは次の25の項目について現在どの程度充足されていると考えますか。また、将来の福井県において、どの程度重要であると考えますか。最も当てはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

※得点の算出方法

「充足されている」＝4点から「充足されていない」＝0点までの得点を付与し項目ごとに無回答を除く回答者数で加重平均し指標化

<現在の充足度>

区分	高目	充足されている	どちらかといえば充足されている	どちらともいえない	どちらかといえば充足されていない	充足されていない	無回答	得点
健康	1.医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	292	733	325	149	52	74	2.7
	2.日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	145	494	541	259	105	81	2.2
	3.毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	176	562	584	169	56	78	2.4
	4.元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	151	717	538	108	20	91	2.6
	5.福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	103	542	688	170	39	83	2.3
	小計	867	3048	2676	855	272	407	12.2
文化	6.美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	114	388	578	312	143	90	2.0
	7.趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	115	475	562	276	105	92	2.1
	8.美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	198	734	462	114	29	88	2.6
	9.伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	147	652	536	161	33	96	2.5
	10.国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	30	179	716	386	214	100	1.6
	小計	604	2428	2854	1249	524	466	10.8
仕事	11.安定した産業基盤が維持されている	59	300	795	278	93	100	2.0
	12.起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	22	132	865	355	142	109	1.7
	13.働く場所と機会が確保されている	65	378	679	289	114	100	2.0
	14.働きたいと思える魅力的な職場がある	39	151	735	403	195	102	1.6
	15.仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	69	370	727	250	110	99	2.0
	小計	254	1331	3801	1575	654	510	9.3
生活	16.家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	151	688	570	108	27	81	2.5
	17.災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	329	850	311	39	13	83	2.9
	18.住宅や公園などの生活環境が充実している	145	617	583	156	34	90	2.4
	19.道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	70	344	540	382	196	93	1.8
	20.空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	530	747	230	24	7	87	3.2
	小計	1225	3246	2234	709	277	434	12.8
教育	21.学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	199	769	483	65	11	98	2.7
	22.地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	186	743	527	62	6	101	2.7
	23.高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	70	370	856	166	52	111	2.2
	24.社会人を対象者とした学びの機会が充実している	43	244	853	276	102	107	1.9
	25.保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	143	642	593	113	29	105	2.5
	小計	641	2768	3312	682	200	522	12.0
	総計	3591	12821	14877	5070	1927	2339	57.1

- ・区分別では、「生活」の充足度が 12.8 ポイントで最も高く、「健康」が 12.2 ポイント、「教育」が 12.0 ポイントで続いている。一方、「仕事」の充足度が最も低く 9.3 ポイントとなっている。
- ・「健康」の各項目では、いずれも充足度が 2 ポイント台と高く、特に「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」(2.7 ポイント)、「元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している」(2.6 ポイント)の充足度が高くなっている。
- ・「文化」の各項目では、「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」(2.6 ポイント)、「伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている」(2.5 ポイント)の充足度が高い一方、「国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある」(1.6 ポイント)の充足度が低くなっている。
- ・「仕事」の各項目では、「安定した産業基盤が維持されている」、「働く場所と機会が確保されている」、「仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている」(いずれも 2.0 ポイント)の充足度が高い一方、「働きたいと思える魅力的な職場がある」(1.6 ポイント)、「起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている」(1.7 ポイント)の充足度が低くなっている。
- ・「生活」の各項目では、「空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている」が 3.2 ポイントで全 25 項目の中で最も高く、次いで「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」(2.9 ポイント)、「家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている」(2.5 ポイント)、「住宅や公園などの生活環境が充実している」(2.4 ポイント)と続いている。一方で、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」(1.8 ポイント)の充足度が低くなっている。
- ・「教育」の各項目では、「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」、「地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている」(いずれも 2.7 ポイント)、「保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる」(2.5 ポイント)と高い水準で続いている。一方で、「社会人を対象者とした学びの機会が充実している」(1.9 ポイント)の充足度が低くなっている。

<将来の重要度>

※得点の算出方法

「重要」＝４点から「重要ではない」＝０点までの得点を付与し項目ごとに無回答を除く回答者数で加重平均し指標化

区分	項目	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答	得点
健康	1.医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	1096	345	61	4	0	119	3.7
	2.日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	506	705	257	22	5	130	3.1
	3.毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	656	604	218	10	3	134	3.3
	4.元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	515	639	288	35	11	137	3.1
	5.福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	694	578	207	15	4	127	3.3
	小計	3467	2871	1031	86	23	647	16.5
文化	6.美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	269	615	499	69	29	144	2.7
	7.趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	385	720	339	21	11	149	3.0
	8.美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	548	675	231	23	6	142	3.2
	9.伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	433	665	327	41	14	145	3.0
	10.国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	273	582	502	84	42	142	2.6
	小計	1908	3257	1898	238	102	722	14.5
仕事	11.安定した産業基盤が維持されている	687	586	191	10	3	148	3.3
	12.起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	483	626	330	21	6	159	3.1
	13.働く場所と機会が確保されている	720	580	167	8	1	149	3.4
	14.働きたいと思える魅力的な職場がある	719	533	207	12	5	149	3.3
	15.仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	761	533	169	13	4	145	3.4
	小計	3370	2858	1064	64	19	750	16.5
生活	16.家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	549	677	233	24	3	139	3.2
	17.災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	949	431	93	6	2	144	3.6
	18.住宅や公園などの生活環境が充実している	571	677	217	12	1	147	3.2
	19.道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	730	593	137	13	8	144	3.4
	20.空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	897	473	100	11	1	143	3.5
	小計	3696	2851	780	66	15	717	16.9
教育	21.学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	882	481	102	5	2	153	3.5
	22.地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	790	533	140	7	2	153	3.4
	23.高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	699	549	205	11	3	158	3.3
	24.社会人を対象者とした学びの機会が充実している	501	617	323	26	2	156	3.1
	25.保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	830	501	131	7	3	153	3.5
	小計	3702	2681	901	56	12	773	16.8
	総計	16143	14518	5674	510	171	3609	81.2

- ・区分別では、「生活」の重要度が 16.9 ポイントで最も高く、「教育」が 16.8 ポイント、「健康」と「仕事」が 16.5 ポイントで続いている。一方で「文化」の重要度が最も低く 14.5 ポイントとなっている。
- ・「健康」の各項目では、「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」が 3.7 ポイントで全 25 項目の中で最も高く、その他の項目も全て 3 ポイント台で高い数値となっている。
- ・「文化」の各項目では、「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」(3.2 ポイント)、「趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる」、「伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている」(いずれも 3.0 ポイント)の重要度が高い一方、「国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある」(2.6 ポイント)、「美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる」(2.7 ポイント)の重要度が低くなっている。
- ・「仕事」の各項目では、「働く場所と機会が確保されている」、「仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている」がいずれも 3.4 ポイントで最も高く、その他の項目も全て 3 ポイント台で高い数値となっている。
- ・「生活」の各項目では、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」が 3.6 ポイントで最も高く、「空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている」(3.5 ポイント)、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」(3.4 ポイント)が続いている。
- ・「教育」の各項目では、「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」、「保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる」がいずれも 3.5 ポイントで最も高く、その他の項目も全て 3 ポイント台で高い数値となっている。

<現在の充足度と将来の重要度の差>

- ・「仕事」に関する 5 項目について、全体で最も高い数値となった「働きたいと思える魅力的な職場がある」をはじめ、いずれの項目でも高値となっている。
- ・その他では、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」、「社会人を対象者とした学びの機会が充実している」、「高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている」の数値が高くなっている。

問30 あなたは、問29の25項目について将来不安を感じていることはありますか。当てはまるものについて5つまで選択し、以下に番号を記入してください。

【健康】

1. 医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	497
2. 日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	93
3. 毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	197
4. 元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	139
5. 福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	372

【文化】

6. 美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	64
7. 趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	92
8. 美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	145
9. 伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	156
10. 国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	86

【仕事】

11. 安定した産業基盤が維持されている	363
12. 起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	129
13. 働く場所と機会が確保されている	377
14. 働きたいと思える魅力的な職場がある	443
15. 仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	257

【生活】

16. 家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	184
17. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	357
18. 住宅や公園などの生活環境が充実している	86
19. 道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	410
20. 空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	161

【教育】

21. 学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	216
22. 地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	104
23. 高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	177
24. 社会人を対象者とした学びの機会が充実している	127
25. 保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	231

- ・「健康」では、「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」が30.6%で最も高く、次いで「福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている」22.9%、「毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる」12.1%が続いている。
- ・「文化」では、「伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている」が9.6%で最も高く、次いで「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」8.9%が続いている。
- ・「仕事」では、「働きたいと思える魅力的な職場がある」が27.3%で最も高く、次いで「働く場所と機会が確保されている」23.2%、「安定した産業基盤が維持されている」22.3%と続いている。
- ・「生活」では、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」が25.2%で最も高く、次いで「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」22.0%が続いている。
- ・「教育」では、「保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる」が14.2%ポイントで最も高く、「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」13.2%、「高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている」10.9%が続いている。

問3 1 その他、ご意見があれば自由に記載してください。(略)